

令和8年1月15日
秋田県総務部広報広聴課

企画提案競技参加希望者様

戦略的広報調査業務委託に係る企画提案競技実施要領等に関する質問及び回答について

番号	資料名称	該当頁	該当行	該当項目	質問内容	回答
1	仕様書	1	22	5 (1)	調査対象者リスト（標本の抽出）は、住民基本台帳からの抽出を想定しているか	抽出方法についても提案してください。
2	仕様書	1	22	5 (1)	住基からの抽出の場合、受託者が行う想定で良いか	抽出方法についても提案してください。

3	仕様書	1 2	23 3	5 (2) (4) ③	200人を対面で深堀調査について、WEB会議システムでの調査の対応、または集合ヒアリング調査の提案の余地はあるか	目的を達成できる有効な調査方法を提案してください。
4	仕様書	1 2	23 3	5 (2) (4) ③	仕様の理解のため、訪問調査が必須の場合、訪問調査でなければならない理由をお伺いしたい	訪問調査は必須ではありませんが、深堀調査は必須となります。
5	仕様書	2	15	6 (5)	経年比較とは、これまで貴県が実施した調査との比較分析という趣旨でしょうか。その場合は、対象の調査結果を共有していただけますか。 または、本調査をもとに今後経年比較が可能な設問設計をするという趣旨でしょうか。	一般的に公開されている同様の調査項目や提案者が有している情報などと可能な限り、本事業に限り比較してください。
6	仕様書	3	3 4 5	(1) ① ② ③	①集計データとは、アンケートのローデータという認識でよろしいでしょうか。 ②調査票とは紙の調査票の原本という認識でよろしいでしょうか。郵送調査を実施しない場合は提出不要という理解でよろしいでしょうか。 また、集計結果とは各設問の集計表という認識でよろしいでしょうか。	①お見込みのとおりです。 ②調査票とは、アンケートの設問や回答選択肢等のことです。 集計結果とは、仕様書 6 (1) に記載のとおりです。

7	実施要領	4	6	(7)	<ul style="list-style-type: none"> ・企画書はA4横でよろしいでしょうか。 縦規定でしょうか。 ・ページ数に指定はないという認識でよろしいでしょうか。 	提案書は、原則A4版、用紙の縦横及びページ数は不問となります。
8	仕様書	1	4	2	広報広聴課が実施している「広報活動」とは具体的に何を示しますか？テレビ、ラジオ、新聞、フリーペーパー、HP、SNSなどでしょうか。	広報広聴課が実施している広報は、全戸配布広報紙、テレビ広報、ラジオ広報、新聞広報、webサイト(HP)、YouTube、Facebook、X、LINEでの広報です。
9	仕様書	1	23	5 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問調査200人についても、全体の標本構成比（人口構成比）と同様の割付を行う必要がありますか。特に対面で深掘りすべき特定の属性（例：デジタル情報の取得が困難な層など）を優先する意図があるか確認させてください。 ・訪問調査における対象者の選定について、受託者がゼロから抽出・交渉を行う想定でしょうか。 	<p>訪問調査の人口構成比の割付は、全体の標本構成比とは別になります。深掘りを行う属性は、質問にあるような内容等に応じて提案してください。</p> <p>訪問調査の対象者選定については提案してください。</p>
10	仕様書	2	3	5 (4) ③	200人に対する対面調査について、調査員が対象者の自宅を訪問する「戸別訪問」を想定されていますか。あるいは、特定の会場に对象者を集めて実施する「会場調査」などの手法による代替提案は可能でしょうか。	対面調査の方法については、「個別訪問」以外にも目的が達成できる手法であれば、提案してください。

11	仕様書	2	4 5 (4) ④	本業務におけるTURF分析について、県としては「既存媒体の維持・効率化」と「デジタル媒体へのリソースの再配分」のどちらに主眼を置いた意思決定を想定されていますか。また、分析対象として、特定の年齢層（例：若年層）への到達率を最優先に検証したいといった、具体的なターゲット設定に関するご要望はありますか。	「既存媒体の維持・効率化」なのか「デジタル媒体へのリソースの再配分」なのか、もしくは両方を属性等によって使い分けるのかといったことを分析・提案が委託業務となります。
12	仕様書	2	16 6 (5)	「可能な限り経年比較を行うこと」とありますが、比較対象となる過去の調査結果について、提供可能なデータの形式を教えていただけますでしょうか。	一般的に公開されている同様の調査項目や提案者が有している情報などと可能な限り、本事業に限り比較してください。
13	仕様書	1 2	23 5 (2) 3 6 (4) ③	「対面で深堀調査」「訪問調査」とありますが、こちらはリモート会議での代用は可能でしょうか？	対面調査の方法については、目的が達成できる手法であれば、提案してください。
14	仕様書	1	23 5 (2)	「深堀調査」について、有効回答数のうち、200人に対して対面による調査実施が出来ていれば「深堀調査」の要件は満たすのでしょうか？それとも200人に対しては別途調査が必要ということでしょうか？	有効回答者の中の200人に対して、さらに深堀調査をするということです。

15	仕様書	1	25	5 (3)	標本の無作為性を担保するためには、住民基本台帳からの等間隔無作為抽出が望ましいと考えます。県側で、上記対応は可能でしょうか？	質問内容を提案していただいた上で、契約締結までの間に県と協議することになります。
16	仕様書	1	25	5 (3)	④調査依頼書の依頼主名や対象者の問い合わせ先は県でよろしいでしょうか？	依頼主は県で、問い合わせ対応は受託者と想定しています。
17	仕様書	1	25	5 (3)	調査手法は複数を組み合わせても良いでしょうか？（郵送＋インターネット等）	複数の調査手法で問題ありません。
18	仕様書	2	5	5 (4) ⑤	調査対象者に対し、回答謝礼の配布可否をお知らせください。	委託料の範囲内であれば可となります。

19	仕様書	2	16	6 (5)	「可能な限り調査項目について経年比較を行うこと。」とあるが、過去の調査結果を提供いただけるということでしょうか？	一般的に公開されている同様の調査項目や提案者が有している情報などと可能な限り、本事業に限り比較してください。
----	-----	---	----	-------	--	--